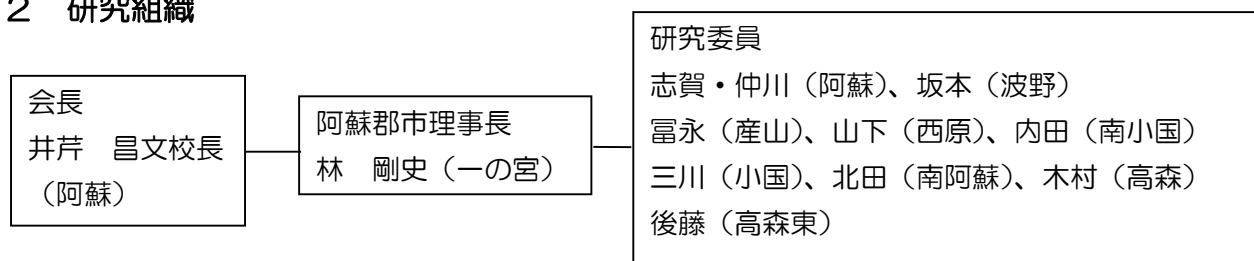


### 1 はじめに

これまで阿蘇郡市では、井芹昌文校長（阿蘇中学校）を中心に10校11名の保健体育科担当で研究を進めてきた。これまでの研究を積み上げてきた集大成として、昨年度は熊本県中学校体育研究会の阿蘇大会を迎えた。研究の視点は「学び合う活動における思考の再構築化」と、「確かな実態把握における学習過程の構築」とし、その検証に取り組んだ。今年度は新学習指導要領の改訂を目前に、その研究をさらに深め、学習構想案の作成や評価基準の見直しなどを検討しながら、研究を進めてきた。

### 2 研究組織



### 3 活動状況

- 4月 10日 (金) : 令和2年度郡市研究組織・授業者の決定と年間計画の立案  
 <中体連評議委員・体育担当者会(未来館)>
- 5月 1日 (金) : 昨年度実践の報告・まとめ、研究テーマ・組織・方向性検討 →中止  
 <第1回阿蘇郡市教育研究会保健体育部会(一の宮中学校)>
- 6月 11日 (木) : 授業研究会・夏期研修会運営確認(阿蘇中学校) →中止
- 10月 23日 (金) : 第2回阿蘇郡市保健体育部会(西原中学校) →**書面報告**
- 11月 27日 (金) : 熊本県中学校体育研究発表大会  
 <芦北水保: 佐敷中学校・緑東中学校→水前寺共済会館>
- 12月 8日 (火) : 第3回保健体育部会(阿蘇市農村環境改善センター)
- 2月 18日 (木) : 阿蘇郡市中体連・中体研反省会  
 <本年度の反省と来年度の志向(阿蘇市農村環境改善センター)>

### 4 研究テーマ

阿蘇郡市中学校体育研究会 研究主題  
 「自ら運動の喜びや楽しさを求め、  
 生涯にわたり健やかな心と体をはぐくむ保健・体育学習の在り方」  
 ～学び合いの中で知識を深め、技能を高める学習をめざして～

視点Ⅰ  
**学び合う活動による思考の再構築化**

- ①基礎的基本的な知識・技能の精選
- ②話し合う視点の明確化
- ③知識・技能の確実な定着
- ④動きを見取る力の育成

視点Ⅱ  
**確かな実態把握による学習過程の構築**

- ①ゴールを見据えた単元計画の作成  
(逆向き設計による単元の作成)
- ②レディネステストの実施
- ③スリーアップ運動

## 5 公開授業及び授業研究会

研究授業 球技「バレーボール」 授業者 山下 修平 教諭（西原中学校）

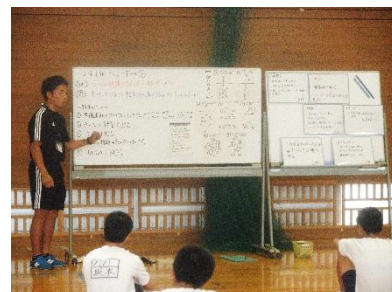
視点を意識した話し合い



スキルアップ運動



授業内容の確実な押さえ



グループ学習



道具の工夫



スキルを生かしたゲーム



### 【研究授業を終えての成果】

- ① 視点を意識した学び合いの中で知識の深まりを感じている生徒が増えた。
- ② 確かな実態把握により、ニーズに応じた場の設定がなされ、生徒の「もっとしてみたい」という意欲を引き出すことができた。
- ③ スキルアップ運動により、基礎的・基本的な知識・技能の定着が伺えた。
- ④ 知識の深まり、技能の高まりが「主体的で楽しい体育」に繋げることができた。

## 6 まとめ

昨年度までの研究を引き継ぎ深める計画をしていたが、新型コロナウイルス感染拡大における会議や授業研究会の中止などで、研究組織全体で協議を行う場の設定ができなかった。その中でも、南阿蘇中学校の北田勇正教諭による県立教育センターとの授業（保健分野）や西原中学校の山下修平教諭による球技（バレーボール）の授業を受け、学習構想案や新学習指導要領で求められる視点など全員で研修できたことが幸いであった。また、熊本県中学校体育研究会（芦北水俣大会）の研究を協議し、シグソー学習や養護教諭と連携した授業など「仲間と関わりながら取り組む授業」は阿蘇中体研でめざす方向と重なり、大変勉強になった。今後は、この昨年まで積み上げてきた研究の成果と課題を明確にし、より充実した研究となるようにしていきたい。